



NO. 337

2021. 7. 15

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センターB1F
発行責任者 小泉 いと子
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623
<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>
定価 10円

大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

令和3年度（一社）全国手をつなぐ育成会連合会 定時総会が開催されました

副理事長 長谷川 美智代

一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会の令和3年度・定時総会が、6月30日にオンラインにて開催されました。

開催に先立ち、久保会長より「日々、各地の育成会として障がいのある人たちのためにご尽力いただきましてありがとうございます。今日は、皆さんの意見を伺いながら、ご本人のために、更に今日の総会を機に、同じ目標をもってみんなで前に進めていけたら良いなあと思っております。」とご挨拶がありました。

続いて、昨年8月に業務執行体制強化のため副会長を5名とされてから初めての総会だということで、小出様（静岡）、佐々木様（東京）、小島様（栃木）、大谷様（鳥取）、西様（熊本）の各副会長のご紹介があり、その後、又村さんから令和2年度の事業報告と収支報告について説明がありました。

事業報告では、令和2年度における主要事項として、①一般社団法人格の取得と社会福祉法人格の消滅手続き、②新型コロナウイルス感染症への対応、③保険事業の開始の3点を挙げられていました。

平成26年7月に任意団体としてスタートした全育連が、令和2年4月に一般社団法人格を取得することができ、新たに常務理事兼事務局長として又村あおい氏をお迎えし、統括であった田中正博氏が専務理事に就任されました。

また、育成会活動としては前身にあたる社会福祉法人全日本手をつなぐ育成会について、平成26年の解散手続きの開始以降、さまざまな調整事項があったことから時間を要していましたが、令和2年度末までにすべての手続きを整え、令和3年4月に消滅手続きが完了しました。

そして新型コロナに対しても各種の取組を進め、国への提言・要望活動を行い、ワクチン接種についても知的障がい者は基礎疾患を有するとして優先摂取できる扱いを実現しました。

また、コロナ禍で外出機会や会合が制限される中、自宅にいても全国の仲間と「つながり」を感じられるようなコンテンツを発信する「みんなの笑顔を増やすプロジェクト（新型コロナでもつながろう）」も始めました。

加えて、育成会における互助の一環として、衛生用品を備蓄し、知的障がい者や家族、障がい福祉サービス事業所等で感染が確認された場合には、配送する仕組みを整えました。

静岡県の小出副会長が、最初の挨拶の中で「育成会の仲間がたくさん利用している生活介護でクラスターが起これば、県や市では具体的な対策がないと言われ、又村さんに連絡をして衛生備品の支給をしてもらい必要な人に配ることができました。心強いご支援ありがとうございました。」と述べられていました。

そして、令和2年10月から保険事業である「おたすけプラン」を開始し、保険加入には全育連の会員であることが条件となることから、「暮らしのおたすけプラン」への加入をきっかけとして新規に会員登録されるケースも見られるようになっていたとのことでした。

令和2年度は、新型コロナの影響を大きく受けた1年となり、多くの大会やセミナーが延期や中止となりましたが、オンライン開催が広がるにつれて、従来よりも多くの会員の皆さんが負担なく参加できるようになっており、「ウィズコロナ」の時代にあって育成会活動が途切れることなく展開されるよう、令和3年度も種々の事業が実施されます。

その中でも、新しい時代の育成活動に向けての取組